



学校だより



令和7年 9月30日
10月号
調布市立第一小学校
校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> Tel.042(481)7636

スポーツの秋です！

副校長 山崎 清香

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、秋分の日を過ぎたころから気温が下がり、まさに秋らしい気候になりました。今年の夏の酷暑から解放されてホッと感ずるところです。

さて、10月13日は、スポーツの日です。2020年に以前の名称「体育の日」から「スポーツの日」に変更され、広くスポーツへの親しみを促進し、スポーツを楽しむことを奨励する意図が込められているそうです。

ただ、現代の子どもたちの運動離れや体力低下は社会や学校教育の課題であり、実態として運動やスポーツの得意な子と苦手な子、運動を良くする子とそうでない子の二極化傾向がみられています。

昨年度の本校保護者と児童対象に行った学校評価において、「お子さん(自分)はすすんで運動をしている。」の質問に対し、否定的回答はどちらも約26%いました。酷暑や遊ぶ場に制限があり、すすんで運動できる環境がないことも要因になっていると思います。

継続的な運動習慣を身に付けることは、ストレス解消や脳の活性化、将来的には生活習慣病の予防に役立つそうです。しかし、子どもたちには、大人のように、必要に迫られてスポーツジムで身体を鍛えるといったモチベーションは存在しません。だからこそ、スポーツをし、「楽しかった」と思ってもらえる機会を増やしていきたいと考えています。本校においても、運動に向かう意欲や関心をどのようにもたせるかが大切であると考え、運動を日常的に取り入れ、運動へ関心を高

められるような授業や教育活動を実践しています。

具体的に述べると、全校児童は、「ちょこプラ1(ワン)」(※)の活動として、朝の会・帰りの会において、各クラスで考えたストレッチを新たに実施します。また、14日には、国内・国際大会で活躍しており世界陸上競技連盟コーチ有資格者でもある方々が6年生対象にハードル走の出前授業をしていただきます。30日には、「縄跳び世界チャンピオンによる短縄・長縄・ダブルダッチの出張授業」を行います。世界チャンピオンによるデモンストレーションを見ることができるとはもちろん、技の体験をします。体験活動後、児童は、縄跳びの興味・関心が継続し、意欲的に活動していくことでしょう。さらには、11月15日から行われる「東京2025デフリンピック」のバドミントン競技を4年生が実際に観戦します。観戦時に子どもたちが、より深い学びや気づきが得られるように、デフアスリートの方が講師となり、10月28日(月)に事前授業も行います。

19日は地域運動会が本校校庭で開かれます。お時間が合えば、ご家族で参加し、運動に親しむ機会としてください。また、ご家庭においても意図的に体を動かす機会を設け、楽しみながら運動に親しんでいただけると幸いです。

※「ちょこプラ1(ワン)」(調布)……子どもたちが生活の中で体を動かす習慣を作り、体力向上・健康的な生活を送ることを目指す調布市の取組

10月の生活目標 すすんで仕事をしよう

学校では、色々な人が力を合わせながら働いています。教員はもちろん、給食のメニューを考える栄養士、給食を調理する調理員、皆が使っているものをそろえる事務主事、学校の安全を守る用務主事・校舎管理補助員など様々です。協力しながら働くことのよさに気付かせ、子供達に、すすんで仕事をする大切さや喜びを理解させたいと思います。皆のために役立つ仕事を積極的に行うことのできる子供であってほしいと思います。